

ROBBY THE ROBOT

ロビー・ザ・ロボット トーキング フィギュア

TALKING FIGURE

この商品は、 Turner Broadcasting System Consumer Products との
ライセンス契約に基づき、企画・製造されたものです。
© 1997 TURNER ENTERTAINMENT CO.

STAR IS BUILT - ロビー物語 [聖伝奇]

1956年のある夜、人気番組「ベリー・コモ・ショー」にチャンネルを合わせたアメリカ人たちは、真に今までのと違ったハイテクなSF時代を感じたであろう。MGMの大作SF「禁断の惑星」の公開が迫った夜の事である。スタジオに現われた彼は、頭の球体レーダーをくるくる回転させながら、その丸々とした体をゆすって歩いてきた。顔にあたる部分で六個のガジェットが作動し、口らしき部分が光を発するたび、それは実に魅力的な声でしゃべり出した。

ロボット・ロビーが人々の前に姿を現わしたのは、これが最初であった。FXマン、アーノルド・ギレスピーのアイデアスケッチをもとに、デザイナーのメンター・ヒュブナーがデザインし「ロボット・フライデー」のデザイナーとしても知られるメカニカル・ドラフターのボブ・木下が仕掛けやディテールを考えて図面化……。以上の様なプロセスを経て、55年4月に誕生したロビーは、「禁断の惑星」で人間なみの1枚クレジットでデビューした。

翌年、同MGMの「宇宙への冒険」に出演してから、7本のTVシリーズに顔(?)を出し71年にアナハイムの博物館「ムービーワールド」に売却された。

80年1月、ロビーの忠実なレプリカ(ロビーJR)を製作したビル・マローンがオリジナルのロビーをゆすり受けてリペアし、84年のスピルバーグ作品「グレムリン」に出演した。現在は、マローン・プロダクションで次の出番を待っている。

(協力 朝日ソノラマ宇宙船)

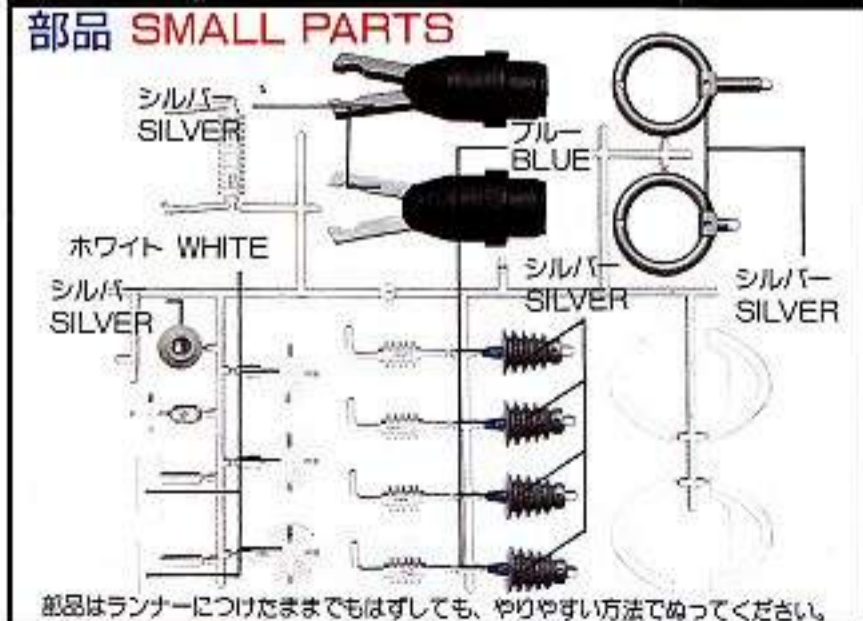
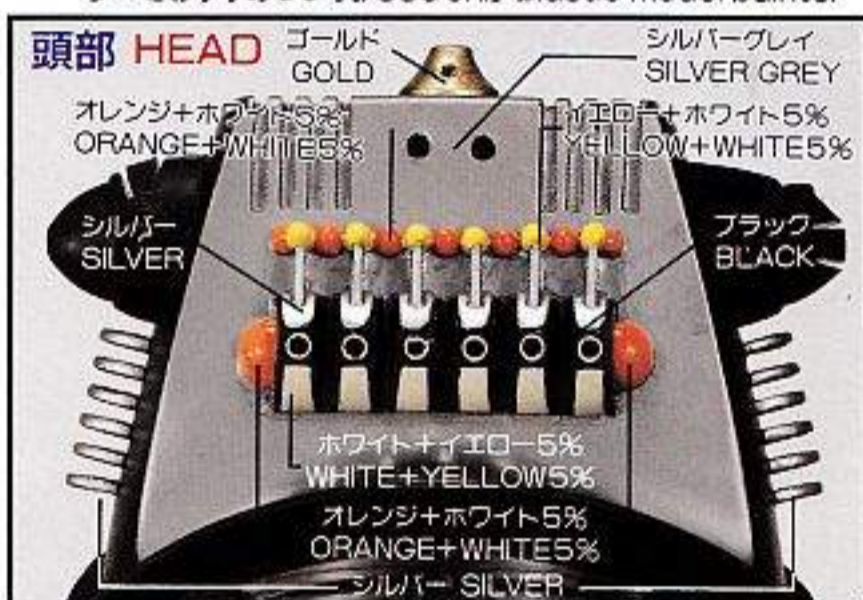
塗装方法 INSTRUCTION FOR PAINT JOB

プラスチックモデル専用塗料を御使用ください。(安全な水性カラーをおすすめします。) Use only plastic model paints.

完成図 COMPLETE

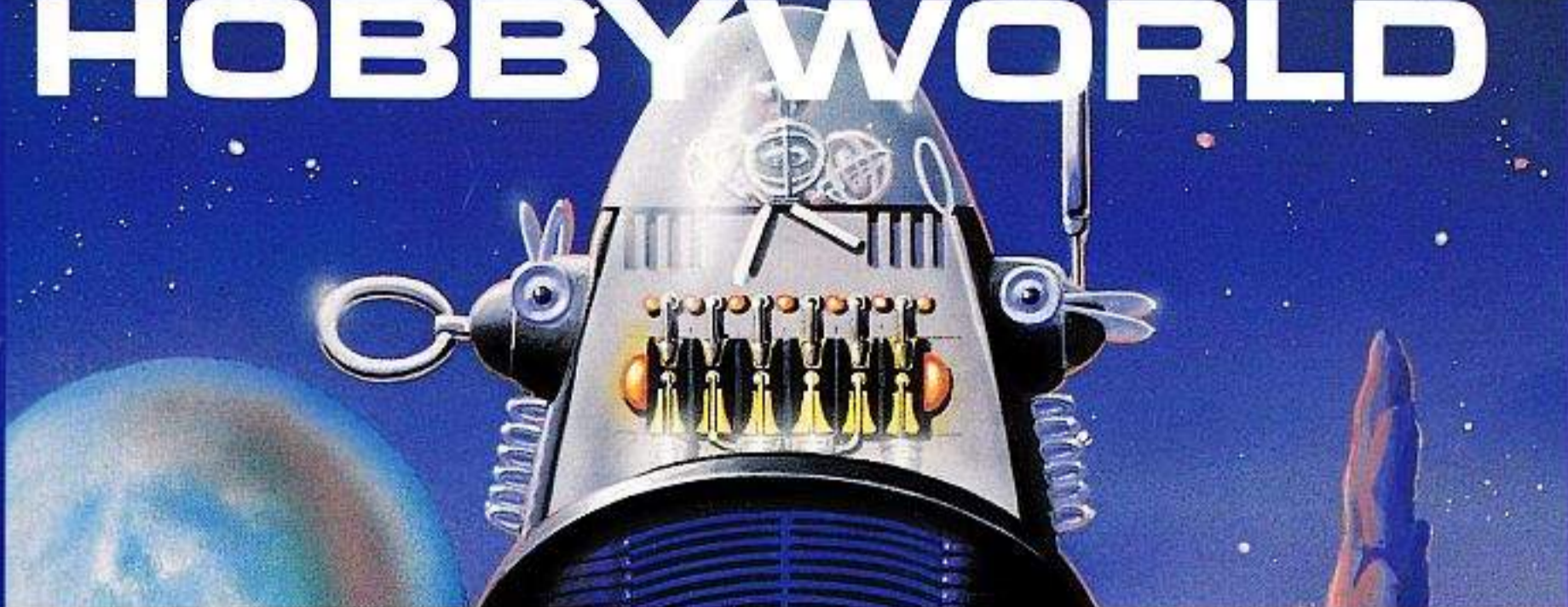


■ 実在のロビーは、頭部、胸部に電飾部分が多いため、発光している状態としていない状態では、その部分の色が違います。ここに書いてある塗装方法は、実在のものイメージに近づけた指定になっています。参考にしてください。



部品はランナーにつけたままでも構いません。やりやすい方法でめってください。
部品のとりつけ方、電池の入れ方は裏面にあります。
Further instructions, see back side.

HOBBYWORLD



注意 (ちゅうい)

ユーザーの皆様へ、必ずお読み下さい。

- リアルな形状を表現する為、尖った部分があり危険です。思わぬケガをする場合がありますので特に、小さなお子様のいるご家庭では保管場所に充分注意して下さい。
- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意して下さい。窒息などの危険があります。
- この製品の対象年齢は10才以上です。それ以下のお子様には与えないで下さい。
- パーツの組立てに必要なカッターナイフ・瞬間接着剤・塗料・ドライヤー等、お使いになる場合は、それぞれの取り扱い説明に従って安全に使用して下さい。
- 本体や付属品を振り回したり、倒れやすい不安定な場所に飾らないようにして下さい。また、ストーブなどの熱源のそばや自動車の車内など日中、高温となる場所に置かないで下さい。本体が変形する場合があります。

《電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意して下さい》

- 充電式 (ニカドなど) 電池は、絶対に使用しないで下さい。
- 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないで下さい。
- +- (プラスマイナス) を正しくセットして下さい。
- 遊んだ後は必ずスイッチを切り電池をはずして下さい。
- ショートさせたり充電、分解、加熱、火の中に入れてたりしないで下さい。
- 万一、電池からもれた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談して下さい。ひふや服に着いた時は水で洗って下さい。

お客様へ

当社では、より良い製品をお届けするために、つねに研究・調査・改良を重ねております。お買い上げの時期によっては、同一製品の中に多少の違いや、パッケージの写真・イラストと製品が異なる場合がありますので御了承ください。なお品質管理には十分注意をしておりますが、万一お気付きの点がございましたら、当社まで、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

MASUDAYA



コレクション

生産証明書

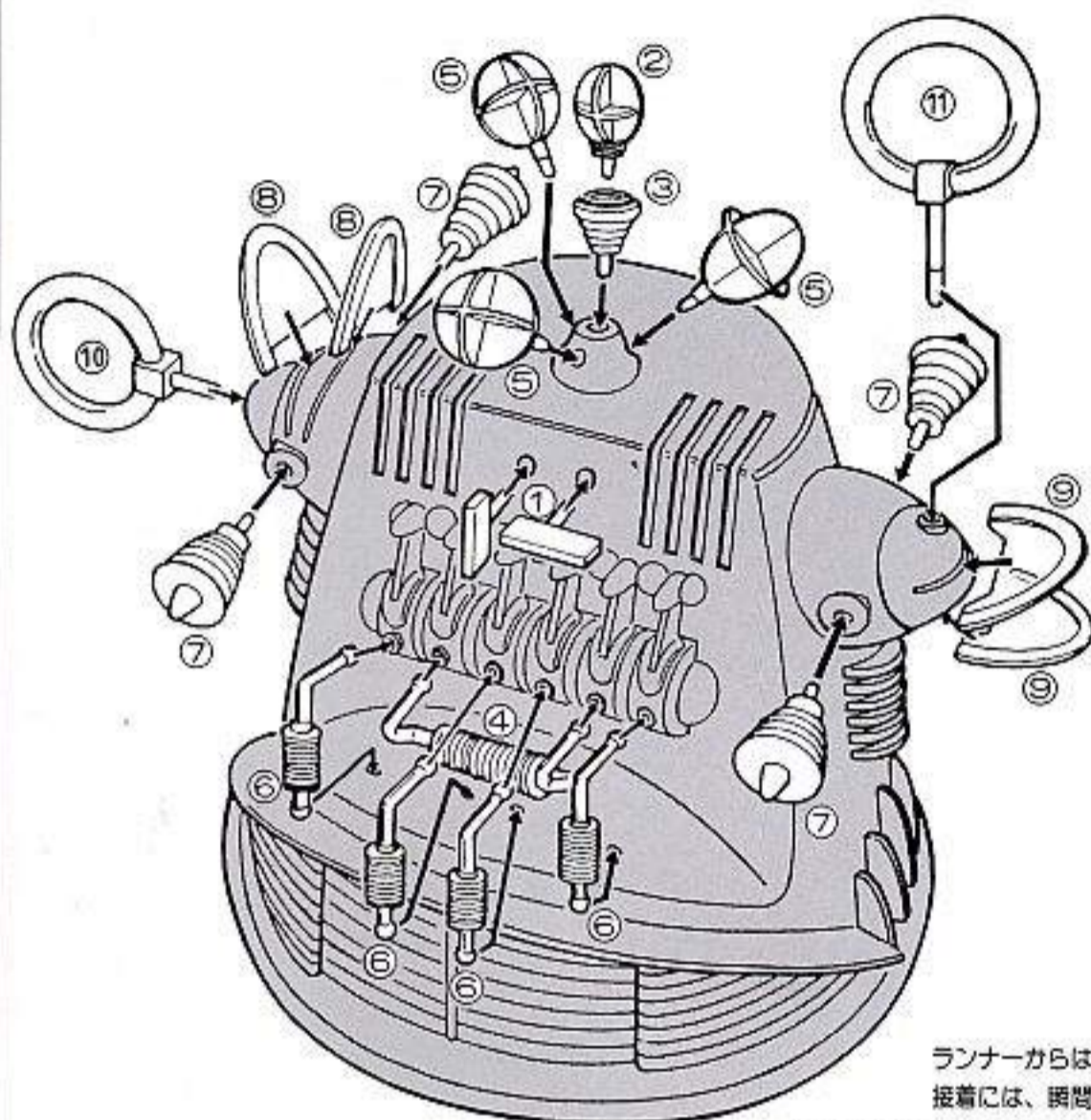
62cm ロビー・ザ・ロボット

生産 年・月	生産番号
年 月	番号 / 生産数

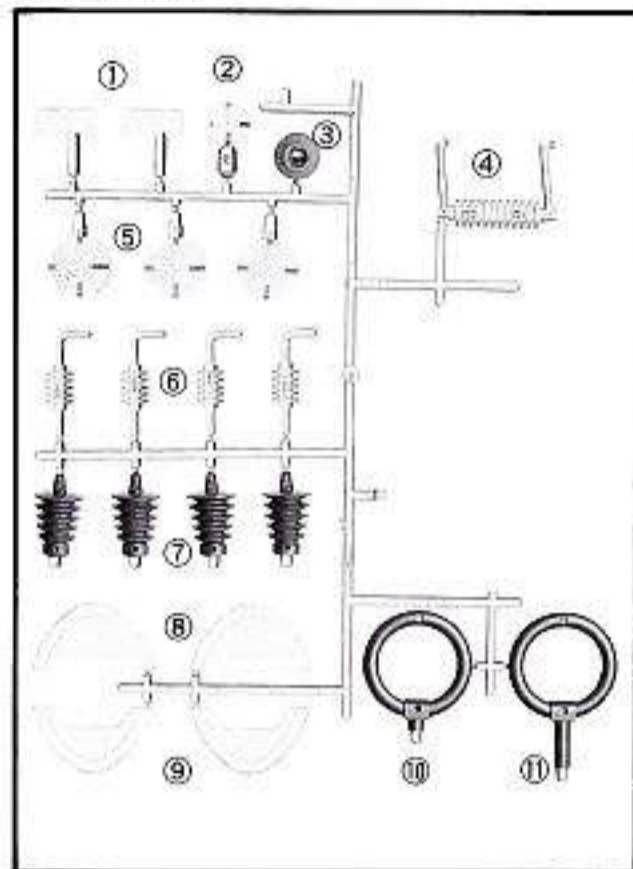
 株式会社 増田屋コーポレーション
〒111 東京都台東区蔵前2-6-4 ☎(03)3861-0152(代)

部品のとりつけ方 HOW TO PUT PARTS

(右の部品番号図にあわせて組立ててください。)



部品番号



組立て後にフードをかぶせてください。

ランナーからはずしたパーツはナイフや紙ヤスリで、バリをとってください。接着には、瞬間接着剤か、エポキシ系接着剤を御使用ください。

Please smoothen all parts after detached from the runners. Use only instant cement or epoxy cement.

部品内容 CONTENTS OF PARTS	ランナー付き部品 SMALL PARTS
胴体 BODY 1	①-2 ②-1 ③-1
右手 RIGHT HAND 1	④-1 ⑤-3 ⑥-4
左手 LEFT HAND 1	⑦-4 ⑧-2 ⑨-2
フード TRANSPARENT HOOD COVER 1	⑩-1 ⑪-1
オプションハンド INTERCHANGEABLE HANDS 2	

電池のいれ方 NOW TO INSERT BATTERY

使用乾電池II-1本 USES 1 UM-2(C) BATTERY



このロビー・ザ・ロボット トーキング フィギュアは、おもちゃではなくホビー向けのものです。小さい部品がありますので、お子様があやまって、のみ込まない様に注意して下さい。

Due to the precise details, This robot uses small brittle parts and care must be required to handle it very carefully. This product is not intended for the children under 10.

電池ボックスの中にトーキングのスピードアジャスターがついています。Speed adjuster of talking unit is inside the battery box.
 ⊕速くなる ⊖おそくなる ⊕FASTER ⊖SLOWER

ロビー・ザ・ロボット トーキング フィギュアの特長

- 「禁断の惑星」のラストでC-57-D円盤を操縦した時のオプションハンド付
- 胸のボタンを押すと口を光らせ「禁断の惑星」でのロビー登場のシーンの言葉をはなします。

FEATURES:

- With interchangeable hands.
- Push button on the body, and he talks with blinking light in the mouth.



トーキングに内蔵された、言葉の内容

Welcome to Altair 4 gentlemen. I am to transport you to the residence.

アルテア4へようこそいらっしゃいました。博士の家に御案内します。

If you do not speak English, I am at your disposal with 187 other languages along with their various dialects and sub-tongues.

もし英語が出来なければ、他に187の言語・方言も多様にそろえています。

For your convenience I am monitored to respond to the name "ROBBY"

“ロビー” という呼称に反応します。

組立て・塗装を、する前に

- 胴体など、硬質ビニールの部分に、ゆがみや、つぶれがあった場合は、60℃以上の、お湯で、しばらく温めると直ります。(この時トーキングの機械や、腕のジャバラは、はずして、お湯につけないようにしてください。)
- 塗装の時などに、胴体など硬質ビニールのパーツを分解したり組立てたりする場合、ヘアードライヤーなどでジョイント部分を暖めて柔らかくすると、やりやすくなります。
- 部品などは、中性洗剤で洗うと、塗装しやすくなります。
- 接着には瞬間接着剤か、エポキシ系接着剤を御使用ください。

Please read the instruction carefully befor assembling and painting.

- If the veneer parts of the robot become bent put the robot in hot water over 60℃ and the robot will return to its normal shape.
(Take care that the water does not get inside the speaker and arms)
- To remove or put together the veneer parts, apply heat lightly.
(for example hair dryer.)
- Before painting all the parts of the robot wash well with liquid soap.
- Use only instant cement or epoxy cement.